

令和6年8月9日

## 個人情報が含まれたSDカードの紛失について

神戸大学医学部附属病院長

眞庭謙昌

本院の形成外科において、患者情報（患者の氏名）と顔写真が保存されたデジタルカメラの記録媒体（SDカード）を紛失したことが判明しました。患者さんをはじめ関係者の皆さまに多大なご心配とご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

### 1. 紛失した個人情報の内容

紛失したSDカードには、以下のデータが保存されていました。

データ：診察時にデジタルカメラで撮影した①患者カルテの氏名・ID(カルテ番号)部分の写真、②体患部・四肢・顔周辺写真（氏名・IDの記載無し）。

人数：可能性がある患者さんは10名。うち個人が特定できる患者は1名。

パスワード：設定されておりませんでした。

#### 《人数の推測について》

該当医師が主治医または担当医として診療し、撮影した患者の体患部・顔写真の台帳と照合した結果、最大で10名分のデータが保存されていた可能性があることを確認しています。

そのうち個人が特定できるものとしましては、患者の口から眼にかけての顔写真を撮影した1名分となっております。

### 2. 経緯

令和6年6月3日（月）の13時頃、形成外科医師が外来診察室にて、患者の患部撮影を行いました。14時頃、外来診療の合間にSDカードに保存されている体患部・顔周辺写真データを電子カルテに登録するため、デジタルカメラからSDカードを取り出し、変換アダプターを通して電子カルテ端末に挿入しました。しかし、挿入する電子カルテ端末を誤ったため、その場では写真データの取り込み作業を行わず、SDカードを取り出しました。その際に、SDカードをデジタルカメラに戻したかどうか定かではありませんでした。

令和6年6月5日（水）12時頃、同医師が手術室にて患部撮影のため、同じデジタルカメラで撮影しようとしたところ、「撮影不能」のエラーメッセージが表示され、別医師の指摘により、SDカードが挿入されておらず、紛失していることに気づきました。

紛失に気づいた後、直ちに外来診察室、手術室、病棟及び医局医員室の検索を行いました。現在も発見に至っておりません。

なお、現時点においては、当該SDカードに保存されていた個人情報が第三者に流出したという情報や不正に使用されたという事実は確認されておりません。

### 3. 該当する患者さんへの対応

個人情報が保存されていた可能性がある患者さんには、電話又は対面にて本件に関する事実関係の説明とお詫びをさせていただいております。

### 4. 再発防止に向けた今後の取組について

今後は、再発防止に向けて以下のとおり取り組みます。

- ・ SD カードの抜き差しによるデータ転送ではなく、有線ケーブルによるデータの転送を行う。
- ・ 電子カルテへデータ転送・保存後は速やかに SD カード内のデータを消去する。消去する際には、デジタルカメラのフォーマット機能を利用する。
- ・ 紛失した場合に備え、個人情報を扱う機器やデータにはパスワードを設定する。
- ・ SD カードをはじめとする個人情報を扱う機器等の定期的な点検を実施する。

今回 SD カードを紛失したことにより、多くの患者さんにご迷惑とご心配をおかけする事態を招いたことを重く受け止め、今後、個人情報の取扱いに関する院内ルールの周知徹底を図り、個人情報の適切な管理に努めてまいります。

#### 【問合せ先】

神戸大学医学部附属病院

総務課病院総務係

TEL : 078-382-5111(代表)